

1年次に実施される「ひらめき」プログラム科目群

※全て電気電子通信、機械工、機械システム合同授業となります

	主担当	対象年次	日程
●ひらめきづくり1	岸・瀬戸	1年	1Q 火・金=5限（教場：11D、11E）
●ひらめきづくり2	瀬戸・岸	1年	4Q 火・金=5限
●ことづくり1	岸、杉浦	1年	3Q 火・金=5限
●ひとづくり1	杉浦、瀬戸、岩尾	1年	後期集中 1/31(岩尾、杉浦)=3～4限、 2/1(杉浦)2/2(岩尾)2/3(瀬戸)=1～4限

受講にあたっての注意点 ①参加申請について

- 「ひらめきづくり」「ことづくり」「ひとづくり」の各科目は、本プログラムの参加学生のみ履修することができます
- 本プログラムの申込受付は1年次・2年次の4月のみとなります
- 電気電子通信の学生で「国際イノベーター育成オナーズプログラム」を受講する人は、必ず本プログラムを受講してください

受講にあたっての注意点 ②履修科目について

- 「ひらめき」プログラム受講者は、自分の学科以外の「機電融合科目」のうち8単位以上を受講・修得する必要があります。ただし、下記は例外となりますのでご注意ください

◆機電融合科目の「理工学と生活」は、各学科の科目の扱いですが、

機電融合科目 8 単位に含めることができます

◆電気電子通信工学科については、自学科の「サイバーフィジカルDX」も

機電融合科目 8 単位に含めることができます

受講にあたっての注意点 ②履修科目について

- 「ひとづくり(1)～(5)」は、学則における「教養特別講義」および「教養ゼミナール」として「教養科目」区分の卒業要件に算入できます
- 「ひとづくり(4)(5)」で認定する「教養ゼミナール(1)(2)」は、1年前期以降に履修可能です

受講にあたっての注意点 ③履修登録について

- CAPの上限は20単位です
- 1年次に実施される「ひとづくり(1)」は集中講義で**CAP外**です
- 集中講義は、4月の履修登録期間内に必ず履修登録してください
- データサイエンスリテラシー(1)を履修すると、CAPのため20単位となってしまう場合は、ひらめきづくり(1)の履修を優先してください（データサイエンスリテラシー(1)は2年次に履修してください）

受講にあたっての注意点 ③履修登録について

- 履修に当たっては、「ひらめき」プログラムのリーフレットまたはHPにある「このプログラムで取得できる単位一覧」(p.5-6)の内容を『学修要覧』の各学科の教育課程表(機械工学科はp.89-90、機械システム工学科はp.107-109、電気電子通信工学科はp.125-127)と照合しながら進めてください

受講にあたっての注意点 ③履修登録について

機械工学科 教育課程表

○印必修科目

区分	科目名	単位数	必修	修学期間										PA	FW	GP	WC	MY	科目ナンバリング
				1年	2年	3年	3年	3年	4年	4年	4年	4年	4年						
理工学部	理工学と生涯	2	○																19-103
	工業概論	2	○																19-102
	電子力学論	2	○																19-103
	電子力学入門	2	○																19-201
	回路論入門	2	○																19-202
	論理的な問題解決の進め方	2	○																19-301
	電気電子通信技術応用	2	○																19-302
	電気力学(1)	3	○																19-203
	電気力学(2)	3	○																19-204
	ひらめきづくり(1)	2	○																19-901
ひらめきづくり(2)	2	○																19-902	
ひらめきづくり(3)	2	○																19-903	
ひらめきづくり(4)	2	○																19-904	
ひらめきづくり(5)	2	○																19-905	
Next PBL	1	○																	19-906
機械設計実習(1)	○	1	○																11-111
機械設計実習(2)	○	1	○																11-112
機械工学実習(1)	○	1	○																11-112
機械工学実習(2)	○	1	○																11-113
特別講義(1)	2	○																	11-911
特別講義(2)	2	○																	11-912
特別講義(3)	2	○																	11-913
機械力学(1)及び演習・実験	○	3	○																11-114
機械力学(2)	2	○																	11-115
機械工学(1)	2	○																	11-116
機械工学(2)	2	○																	11-117
材料力学	○	2	○																11-118
応用材料学及びEML実習	○	2	○																11-119
材料学及び演習・実験	○	3	○																11-120
流体力学	2	○																	11-121
流体工学	○	2	○																11-122
熱力学及び演習・実験	○	3	○																11-123
熱力学	2	○																	11-124
流体力学	2	○																	11-125
トライボロジー	2	○																	11-126
機械材料学及び演習・実験	○	3	○																11-127
材料工学	2	○																	11-128
材料工学(1)	2	○																	11-129
材料工学(2)	2	○																	11-130
機械工学概論	2	○																	11-131
機械工学実習	2	○																	11-132
機械製図実習及び演習	○	3	○																11-133
材料知工学	2	○																	11-134
基礎研究	○	2	○																(4) 4
卒業研究(1)	○	3	○																(6) 6
卒業研究(2)	○	3	○																(6) 6

ひらめきづくり [14単位]

◎必修

科目名	単位数	必修の別
ひらめきづくり(1)	2	◎
ひらめきづくり(2)	2	◎
ひらめきづくり(3)	2	◎
ひらめきづくり(4)	2	◎
ひらめきづくり(5)	2	◎
論理的な問題解決の進め方	2	◎
知的財産	2	◎

①リーフレットで「ひらめき」プログラムの科目と単位数、必修の別を確認

このプログラムで取得できる単位一覧

文庫情報 取得の幅を広げる事が

科目名	単位数	必修	履修条件
ひらめきづくり(1)	2	◎	
ひらめきづくり(2)	2	◎	
ひらめきづくり(3)	2	◎	
ひらめきづくり(4)	2	◎	
ひらめきづくり(5)	2	◎	
論理的な問題解決の進め方	2	◎	
知的財産	2	◎	

ゲームと科目のつながりを重視したカリキュラム

このプログラムでは、ゲームの面白さを活かして、学生が主体的に学び、知識やスキルを身につけることを目指しています。また、ゲームを通じて、論理的な問題解決能力や、チームワークの大切さなどを学びます。

2022年度

学修要覧

理工学部

東京都市大学

②『学修要覧』で各科目の区分などを確認（該当科目にマーカー等を引いていくとわかりやすい）

③卒業要件を満たすために、他に必要な科目などを確認しながら進めること

マンガで紹介！

新しい教育への挑戦

ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く

「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラム

USのほかに、世界的に有名なプロダクト

受講にあたっての注意点 ④その他

- 本プログラムの受講者は4年次の後期に「Next PBL」があります
- 本プログラムの受講を継続するには、一定の成績基準を満たしている必要があります
- 教職課程の学生で「ひらめき」プログラムへの参加を希望する人は時間割上、履修が難しいため、クラス担任に相談してください
- TAPに参加する学生も「ひらめき」プログラムに参加できます

受講にあたっての注意点 ④その他

■ 本プログラムを辞退する場合は以下の手順を踏む必要があります

① 2023年2月15日までに「ひらめき」プログラムの担当講師

(杉浦、岸、瀬戸) に辞退したい旨を伝える

② 2023年3月に各所属のクラス担任と面談

③ 2023年4月のガイダンス期間最終日の17:00までに教育支援

センターに辞退届を提出

「ひらめき」プログラム受講希望申請フォーム

受講希望申請は下記から受け付けます

<https://forms.gle/ogg3A9brjBdd1kvY6>

申請締め切り 4月9日（土） 18:00



「ひらめき」プログラム受講者の発表について

プログラムの受講が認められた学生については、

4月10日（日）18:00に、ひらめきのホームページ

(<https://hirameki.tcu.ac.jp/>) に学籍番号を掲載します

不明点や質問は下記までお願いします

「ひらめき・こと・もの・ひと」づくり
プログラムのホームページ
<https://hirameki.tcu.ac.jp>

メールアドレス

hirameki@tcu.ac.jp（担当：杉浦、岸、瀬戸）



「ひらめき研究室」（5月までの所在地）

1号館3階 真ん中の階段の近く。自販機スペースの隣